

お知らせ

太田川水系古川に新たな通路が開通 ～堤防上を一直線に結ぶ通路で利便性が向上～

平成26年7月1日 午前10:00に広島市安佐南区西原地区において祇園新道の昭和橋（国道54号）を立体交差する河川管理用通路が古川水鳥緑道の一部として開通します。

この整備により祇園新道（国道54号）で分断されていた古川沿線の緑道（遊歩道）が連続し、河川巡視の他、沿線住民の方々の散策やウォーキング・通勤・通学など幅広い用途で利用可能となり、安川合流点から祇園大橋までの古川水鳥緑道を含む管理用通路（約4.5km）の利便性が向上します。

※古川水鳥緑道は、市民の交流・健康づくり、子供たちの遊び・学習などが活発に行われる環境を創出するため、古川の自然を生かし、野鳥（水鳥）、植物等に親しむポイントづくりやこれらをつなぐルートづくりとして、広島市が堤防天端・背後地に緑道（遊歩道）整備を行ったものです。

同時資料提供先

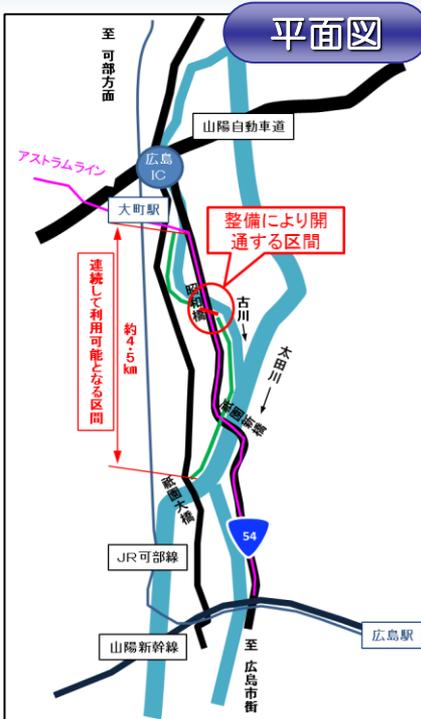
広島県県政記者クラブ
広島市政記者クラブ
合同庁舎記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

問い合わせ先

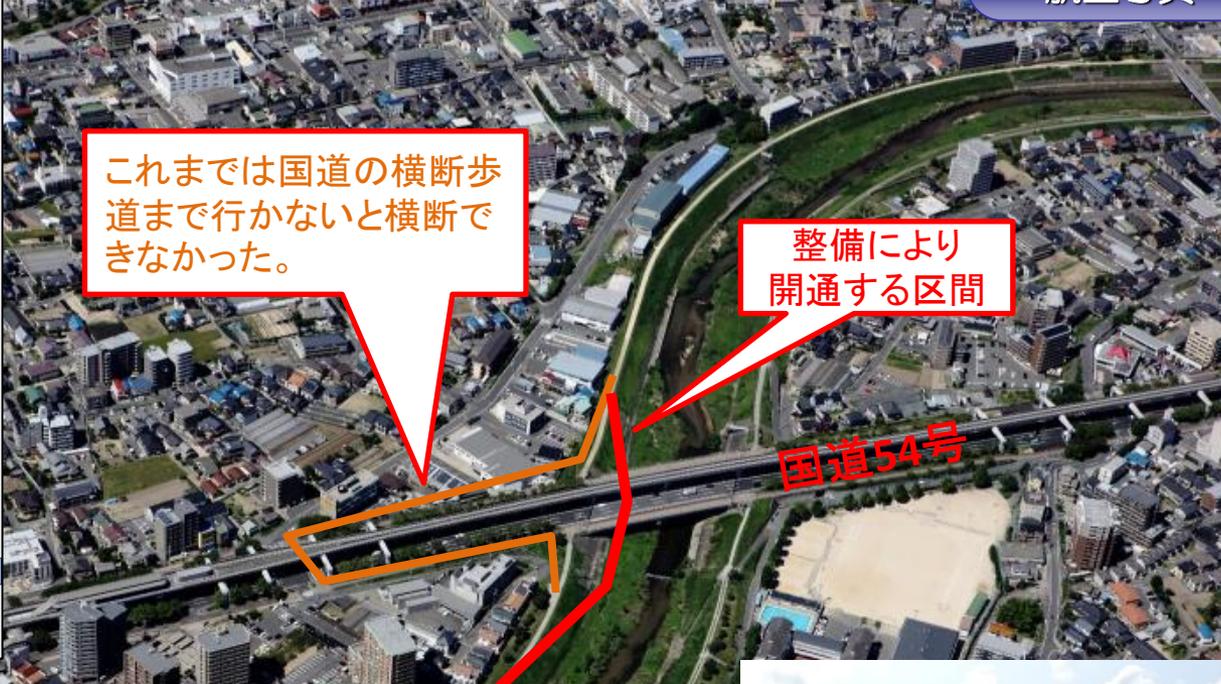
中国地方整備局 太田川河川事務所
副 所 長 湯浅 丈司（ゆあさ じょうじ）
計 画 課 長 國光 謙二（くにみつ けんじ）
住 所 広島市中区八丁堀3-20
電 話 082-222-9246（計画課直通電話）

古川昭和橋アンダーパス開通

平面図



航空写真



古川下流から上流を望む



左岸から右岸管理用通路を望む